

大山の涼風を受け走る



第2回大山高原 クロスカントリー大会

昨年初めて行い、好評を博した「大山高原クロスカントリー大会」の第2回大会が、7月29日（日）爽やかな大山の涼風がそよぐ中、豪田山の大山スポーツ公園周辺で行われました。

この大会は、夏場の大山でのスポーツ合宿をPRしようと、スキー場内の芝生を利用し周回2kmの特設コースを設置して開いたもの。遠くは東京都や福岡県から600人を超えるエントリーがあり、個人の部19部門、団体10部門に分かれ健脚が競われました。

高校トップクラスの選手もいれば、ジョギング感覚の参加者も。それぞれの走りを楽しみました

その他、会場内では地元特産品が当たる「お楽しみ抽選会」や「大山の恵み からす天狗市」も開かれ、「また来年も、この素晴らしい大山でぜひ走りたいたい」という声がたくさん寄せられました。

特に今回は、6歳の小学生から85歳の元気いっぱいランナー、さらには大山で合同合宿中の西脇工業高校（兵庫）・西京高校（山口）などの全国高校駅伝常連校の参加もあり、老若男女、ジョギング感覚から高校トップクラスの走りまで、幅の広い賑やかな大会になりました。



高校生男子 6.0km の部で優勝した細川勇介さん（西脇工業高校）

暑い夜に盆踊りの 太鼓の音が響く

毎年恒例の盆踊り大会が、猛暑の続く8月中旬に各地で催されました。

8月16日（木）に「納涼の夕べ」が大山公民館前で、8月18日（土）に「いさい踊り盆踊り大会」が中山公民館前で行われ、会場いっぱい集まった地元住民や帰省客で賑わいました。



▲地元の盆踊り保存会のみなさんを中心に、太鼓と歌に合わせて軽快な踊りがいつまでも続きました（納涼の夕べ）

▶中山いさい踊り保存会のみなさんの踊りの輪のなかに、地元のみなさんや大山町内の会社で働いている中国からの研修生も加わり、唄や太鼓の音頭にあわせて賑わいました（いさい踊り盆踊り大会）

